P 11	オレゴン州ポートランド市視察報告およびつくば市への提言

発表者・団体名（所属）
内海真生（筑波大学生命環境），岩本浩二(筑波大学企画室),
羽田野真由美（3Ecafe プロジェクトチーム），西川瑛海（3Ecafe プロジェクトチーム）

1. ポートランドの概要

図 ポートランドの位置

環境先進都市として名高いポートランド（Portland)市 は、アメリカ合衆国オレゴン州マルトノマ郡内の都市で、アメリカ西海岸有数の都市である。人口は市内で約 57 万人（2009 年)、周囲の都市圏を含めると約 226 万人であるが、人口および都市圏は年々増加・拡大傾向にある。

2. ポートランドの環境への取組概要

現在、ポートランドは、最新の削減戦略である Climate Action Plan 2009 において、ポートランド市とマルトノマ郡で CO2 排出量に関して 1990 年比で 2030 年までに 40%､2050 年までに 80%の削減という高い数値を掲げ、市をあげて CO2 排出削減に取り組んでいる。実際に 2008 年には-1%の削減を実現するという実績も持つ。そのため、ポートランドは環境先進都市として注目を集め、世界中から視察が訪れ、また環境関連の会議等が数多く行われている。

3. ポートランド市街地における環境対策と実際

ポートランドでは、公共交通の発達が社会的平等につながるという考えのもとに、交通政策をすすめている。町の中心部の公共交通(バス・ライトレール・ストリートカー）は TriMet という公的な会社によって一律に運営され、ダウンタウンでは無料で乗車できる区間もある。実際に利用したが、運行間隔も 1 時間に 4 本程度で、利用者も多く、空港から中心部への移動時や散策時に便利であった。

また、ポートランドを歩いているとしばしば米国のビル評価システムである LEED（Leadership in Energy and Environmental Design）認証のマークに出会う。LEED は立地・水利用・エネルギー・資源材料・内部環境・デザインや技術の 6 分野にわたって採点し、総合点で建物を評価するというものである。ポートランドでは新規に建築される建物で CO2 ゼロミッションにすることを目標に掲げており、建築材料の運搬距離まで考慮にいれた環境計画をたてていた。

市とポートランド州立大学が協働して環境対策をすすめているのも、ポートランドの特長であるといえる。ポートランド州立大学では学生が必修の教育プログラム内で地域の社会貢献活動を行っており、その中には環境貢献活動も含まれる。CO2 削減政策を推進している市の持続的発展計画局も学内にオフィスがあるなど、大学が市と強いつながりを持ちながら環境推進を先導している。

4. つくば市への提言

市民の環境意識を比較すると、ポートランドよりもつくばの方が高いと思える場面も多かった。それでも、ポートランドがこれほどまでに世界的に有名な環境都市になれたのは、行政・大学・市民間の連携がスムーズであることが挙げられる。立場の異なるものが協働するためには、単に CO2 排出量削減を最終目標とするのではなく、それがエネルギーの節約や、仕事の創出、社会的公正、地域ブランド力向上に繋がっていくという共通認識をもつことが重要である。また、ポートランドの外部への積極的なアピールは、つくば市もおおいに取り入れることができると考える。

補足情報	3Ecafe　プロジェクトチーム　メールアドレス：3ecafe@gmail.com